

授業科目 救急医学・演習

【担当教員名】 朱 敏秀、石川 知志、渡邊 良弘、月城 慶一 桐本 光、椿 淳裕、渡辺 恵子、鈴木 真由美 石塚 敏子、岡田 史、川上 心也		対象学年	3	対象学科	理学・作業・義肢
		開講時期	前期	必修・選択	必修（理学・作業） 選択（義肢）
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 各疾患の救急対応法を理解できる。 2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。 3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。 4. 気道の確保について理解し、実施できる。 5. 効果的なCPRを実施できる。 6. 病气やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。 7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。 8. 応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション				
2	スポーツ現場での救急対応	1	講義（石川知志）		
3	精神科救急とその対応	1	講義（渡邊良弘）		
4	内科的救急対応（1）	1	講義（朱敏秀）		
5	内科的救急対応（2）	1	講義（朱敏秀）		
6	応急救護法とは	2	以下、演習		
7	蘇生の連鎖と感染の予防	2	（月城慶一、桐本光、椿淳裕、		
8	気道、呼吸、循環の初期の評価	3	渡辺恵子、鈴木真由美、石塚敏子、		
9	気道の確保	4	岡田史、川上心也）		
10	CPR（心肺蘇生法）	5			
11	病气やけがに応じた対処法	6			
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（1）	7			
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（2）	7			
14	知識の確認	8			
15	まとめ	8			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		MEDIC FIRST AID(R) BasicPlus (MEDIC FIRST AID International Inc. の登録商標です) 一般購入はできません			
参考書		救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂3版 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会(監修) へるす出版 2006・1,260円			
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。		【履修上の留意点】 ・テキスト・教材費（一般購入はできません）として4030円が必要となります。 ・30名程度のグループで行い、グループは前年度中に発表します。 ・遅刻・早退がなく、満身にコースを修了した場合、修了カードが発行されます。			